

# 平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【文学研究科 教育学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18MEDU1111	教育学研究総論	1	教育学・保育学が組み入れられている歴史的・社会的文脈、学問的文脈から教育・保育をとらえ、その現代的課題について述べ、それを位置づけるための〈全体的マップ〉を提供する。	修士課程の学修にふさわしい教育学・保育学に関する理論的土台を身につける。	◎								
18MEDU1112	教育学研究特論	1	教育学・保育学の様々な問題に関する先行研究の文献や自ら執筆した研究ノートなどを読み、研究を進めるために必要な基礎的知識・技法を習得する。	①著作・論文などを読んでその内容を理解して要約することができる。 ②教育・保育の発展に向けた問い立て、検討課題をあげることができる。 ③形式と内容を踏まえた発表資料を作成し、適切な方法で報告・発表・合評することができる。			◎			○			
18MEDU1121	教育学特別研究	1	教育学・保育学の役割を理解しつつ、自らの問題関心を意識化し、課題を見つけ、その課題の領域の先行研究を探し、研究方法について検討する。	問題の発見、問題の設定、研究方法の確定、研究の遂行、論文の執筆などについて具体的で現実的な計画を立てることができる。			◎	○					
18MEDU1122	課題研究Ⅰ	1	子どもと学校・教育施設をめぐる教育事象の中から問題を発見し、問いを立て、それについて調査し、自らの研究課題と研究方法を確定する。	①研究対象を適切に選ぶことができる。 ②研究対象の今日的な意義を理解し、それを文章化することができる。 ③他者の論文に対して、教育学的観点からコメントを加えることができる。			○			◎	◎		
18MEDU2121	課題研究Ⅱ	2	課題研究Ⅰで得た知識と理解をさらに深化させつつ、自らの問題関心や研究内容を客観的に論述する技法を習得する。	①先行研究を精査する能力を育てる。 ②調査データや研究対象を適切に分析し、考察することができる。 ③合理的で客観的な内容の文章が書ける。						◎	◎	○	
18MEDU2122	課題研究Ⅲ	2	内容構成、論述展開など、アカデミック・ライティングの技法に習熟し、オリジナリティある修士論文の完成に向けた知識と技法を獲得する。	①修士論文執筆スケジュールを順守し、真摯に自らの課題に向き合うことができる。 ②内容構成を吟味し、主体的に修士論文を完成させる意志を有している。 ③論理的な考察を取り入れた、独創性のある論文を完成させることができる。						◎	◎	○	
18MEDU1211	教育調査法Ⅰ	1	教育学に必要な実証的データの取り扱いに習熟することを目的とする。後期に開講される「教育調査法Ⅱ」の基礎となる、測定値の特性・分布と代表値・散布度・正規分布・母集団と標本分布・統計的仮説検定の概念・平均値の比較・分散分析の初歩、まで理解できるようにする。	・測定値の特性・分布を理解する。 ・代表値・散布度・正規分布・母集団などの概念を理解する。 ・標本分布・統計的仮説検定の概念を理解する。 ・平均値の比較・分散分析を行うことができる。			◎			○			
18MEDU1212	教育調査法Ⅱ	1	教育学研究にとって必要な知識および技法を身につけることが本研究の目的である。特に修士論文研究に用いることのできる、ノンパラメトリック統計、相関係数、簡単な因子分析ができるようになることが到達目標である。	実際に自分で調査・実験等のデータを分析できて、学会論文での発表ができる程度の力を身につける。			◎	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
18MEDU1281	学術英語Ⅰ	1	今、子どもたちに主体的・論理的・批判的思考力が求められている。授業では「子どものための哲学」(Philosophy for Children = P4C)の方法を学んで、教室での批判的思考力の育成の方法、ともに考えることの意義を学ぶ。	大学院生としての英語理解力をつけるとともに、「子どものための哲学」の理論を理解することを目標とする。			◎		○					
18MEDU1282	学術英語Ⅱ	1	本講座の目的は次の3つである。 1. 学術調査・研究に必要な英語文献の検索方法、活用方法ならびに読解方法を学ぶ。 2. 英文要旨の書き方を理解し、自身の研究に即した英文要旨を書く。 3. 英語での口頭発表資料作成し、実際に発表する。	本講座の到達目標は、科目目的に準じる。 ①学術調査・研究に必要な英語文献の検索、活用ならびに読解ができる。 ②英文要旨を書くことができる。 ③英語で口頭発表をすることができる。			◎	○						
18MEDU1331	教育哲学特論	1	教育哲学として重視されてきた哲学・思想の特徴およびその変遷を把握し、その内容と文脈について検討する。	①教育に関する重要な基礎概念を理解する。 ②基礎概念に関する問題設定が歴史上のどのような背景のもとに生じたのかを理解する。 ③自らの教育観を相対化し、今日の教育に関する議論ができる。	○	◎								
18MEDU1333	教育哲学演習Ⅰ	1	現実の教育事象を哲学の視点から考察することにより、教育実践や子どもの活動などを、記述、理解、分析、解釈するための能力を養う。	①教育実践や子どもの活動などを的確な概念を用いて記述・理解できる。 ②教育実践や子どもの活動などを多様な角度から分析・解釈できる。			○		◎					
18MEDU1334	教育哲学演習Ⅱ	1	現実の教育事象を哲学の視点から考察することにより、教育実践や子どもの活動などを、分析、解釈、批判、改善するための能力を養う。	①教育実践や子どもの活動などを多様な角度から分析・解釈できる。 ②教育実践や子どもの活動などの批判的検証をとおして、発展的改善のための方針を示すことができる。			○		◎					
18MEDU1342	教育人間学特論	1	教育人間学に関する知識を理解し、子どもの成長発達過程において生じる様々な問題を教育人間学の視座から捉え直す。	①人間の生全般に関わる視点から、子どもの体験や教育という営みを、捉え直すことができる。 ②子どもの成長発達に関わる教育者の役割を探究することができる。		◎								
18MEDU1352	教育思想史特論	1	教育や学校に関連する思想家・テーマ・トピック等に焦点を当て、歴史的な観点を踏まえながら教育の思想について考察する。	①教育思想が一定の歴史的・社会的・文化的な条件の中で構築され、継承あるいは変容していく過程について理解する。 ②教育の実践や制度がどのような形で教育思想に支えられているのかを理解する。 ③これからの教育・学校のあり方や課題について、教育思想史的観点を踏まえて自らの見解をもつことができる。		○	◎							
18MEDU1353	教育思想史演習Ⅰ	1	教育思想史に関連する国内外の文献の講読を通じて、研究の深化を図る。	①研究論文・著書を熟読し、正確に理解することができる。 ②研究論文・著書に対して批判、考察を加えることができる。			◎		○					
18MEDU1354	教育思想史演習Ⅱ	1	教育思想史演習Ⅰの課題と関連づけながら、教育思想史に関連する国内外の文献の講読を通じて、研究のさらなる深化を図る。	①研究論文・著書を熟読し、正確に理解することができる。 ②研究論文・著書に対して批判、考察を加えることができる。 ③研究論文・著書の読解を通じて、自らの見解を深めることができる。			○		◎					
18MEDU1362	人間形成特論	1	人間形成論の概要を学び、それによって自分自身の教育観の幅を拡大し自省性を深めることを通して、受講生が〈しっかりとした学術的な基盤をもつ自省的実践者へと自己形成する〉ための前提を獲得することをめざす。	人間形成論を基礎として原理的統合的思索を深め展開することができる。							◎		○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18MEDU1363	人間形成演習Ⅰ	1	あらかじめ人間形成論に関する文献を読み、それについてレポートし、話し合う。これを通じて、自分の教育観の幅を拡大し自省性を深めて、学術的な基盤をもつ自省的实践者へと自己形成するための前提を築く。	教育に関する原理的統合的な思索を展開するために、人間形成論に関する基礎的な知見を獲得する。			○	◎					
18MEDU1364	人間形成演習Ⅱ	1	あらかじめ人間形成論に関する文献を読み、それについてレポートし話し合う。これを通じて、受講生が自分の教育観の幅を拡大し自省性を深めて、学術的な基盤をもつ自省的实践者へと自己形成するための前提を築く。	教育に関する原理的統合的な思索を展開するために、人間形成論に関する発展的な知見を獲得する。				◎		○			
18MEDU1432	教育課程特論	1	現代日本の学校教育におけるカリキュラム開発の現状とカリキュラム研究の動向について理解し、カリキュラム研究をめぐる諸課題を知ることを目的とする。	日本のカリキュラム開発の現状と課題およびカリキュラム研究の動向についてひととおりの説明ができ、それらに関する短いエッセイが書けるようになることが到達目標である。			◎			○			
18MEDU1433	教育課程演習Ⅰ	1	世界の学校カリキュラムについて受講生が自らの関心に基づき、調べて整理し、それを発表することとおして受講生がともに学ぶことを目的とする。	調べて明らかになったことを整理して、聞き手・読み手にわかりやすいように発表したり、レポートにまとめることができる。					○		◎		
18MEDU1434	教育課程演習Ⅱ	1	教育課程演習Ⅰの学習成果をふまえて、日本の学校カリキュラムの動向について受講生が自らの関心に基づき、調べて整理し、それを発表することとおして受講生がともに学ぶことを目的とする。	調べて明らかになったことを整理して、聞き手・読み手にわかりやすいように発表したり、レポートにまとめることができる。			○				◎		
18MEDU1442	教育心理学特論	1	幼児・児童の心身の発達や教授法などを含む教育心理学の知識と、知識を支える方法論、知識から実践への応用を学ぶことを目的とする。	①幼児・児童の心身の発達について基礎的知識を説明できる。 ②幼児・児童への教授法を心理学的概念を用いて説明できる。	◎	○							
18MEDU1443	教育心理学演習Ⅰ	1	現代の教育における心理学的問題に関して、問題設定、資料の収集および分析をする能力を高めることを目的とする。	①現代の教育における心理学的問題に関する情報を収集することができる。 ②収集した学術的情報を分析し、問題点を把握することができる。			◎	○					
18MEDU1444	教育心理学演習Ⅱ	1	現代の教育における心理学的問題に関して現状を把握し、将来的な展望を得るために実地調査を行う能力を高めることを目的とする。	①現代の教育における心理学的問題に関して、新たな情報を収集する計画を立てることができる。 ②実際にデータを収集・分析し、将来的な展望につなげることができる。				◎			○		
18MEDU1451	教育メディア特論	1	デジタルメディアの背景にある行動主義・認知主義・社会構成主義に気付き、教育におけるメディア利用の今後について考究することを目的とする。	教育におけるメディア利用の今後について考究し、それを文章にまとめたり発表したりすることができる。			◎			○			
18MEDU1452	教科経営特論	1	理科教育を事例として、学校教育における教科経営に必要な専門的知識を身につけ、教科経営について深い見識を養うことを目的とする。	理科教育の成り立ちや変遷の背景、子どもの自然理解の特徴や授業方略等うちの少なくとも1つについて正しく理解し、自分の言葉で説明することができる。							◎	○	



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18MEDU1533	こども学演習Ⅰ	1	こどもにかかわることが、たとえば基本的生活習慣、子育てと愛着性の形成など親子関係の成立、価値の形成と転換などにかかわる先行研究などの文献等を参考にしながら、こどもにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解してゆく。	こどもおよび子育てにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解してゆく。				○			◎		
18MEDU1534	こども学演習Ⅱ	1	こどもにかかわることが、たとえば基本的生活習慣、子育てと愛着性の形成など親子関係の成立、価値の形成と転換などにかかわる先行研究などの文献等を参考にしながら、こどもにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解してゆく。	こども学演習Ⅰに引き続き、こどもにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解する。				○			◎		
18MEDU1542	保育内容特論	1	この科目は、乳幼児の発達を促すにふさわしい内容・方法について分析力を深めるために、保育内容における基本的な概念の整理と具体的な保育内容の有り様を分析し、今後の乳幼児教育内容のあり方を考察することを目的としている。	保育者として保育内容を構築し、保育の質を高めるために、自らが学び探究できる基礎的な力を獲得することを目標とする。具体的には、様々な幼児教育内容・方法の知識を得て、乳幼児理解と基本的な技法に基づき、一人ひとりの乳幼児に応じた教育内容・方法の展開ができる力を高めることが目標である。			◎				○		
18MEDU2551	保育学特論	2	保育に関する理論、保育所保育指針や幼稚園教育要領に示される内容とその背景を学び、それについて吟味することを中心に展開する。さらに、保育学の研究方法を概観し、それについて学ぶ。これらを通して、保育に対する総合的で高度な専門的知識と教育研究能力を育成することを目的とする。	①保育所保育および幼稚園教育の理念および原則を理解する。 ②保育内容のねらい、内容、指導法の理解を深める。 ③保育の評価について理解する。 ④保育所および幼稚園などの保育施設における保育の現状と課題を把握する。 ⑤保育学の研究方法について理解する。				○			◎		
18MEDU1553	保育学演習Ⅰ	1	「育てる-育てられる」保育という営みや、環境としての保育者、子どもの成長と発達の過程について総合的で高度な専門的知識と共に、保育の今日的課題について協議し、保育実践研究の意義と方法論について学ぶ。	保育の今日的課題について資料を収集し、考察し、保育実践研究の意義と方法論についての知見を持つ。					○			◎	
18MEDU1554	保育学演習Ⅱ	1	「育てる-育てられる」保育という営みや、環境としての保育者、子どもの成長と発達の過程について総合的で高度な専門的知識と共に、保育の今日的課題について協議し、保育実践研究の意義と方法論について学ぶ。	保育の今日的課題について自分なりの意見を持ち、保育実践研究に対する意欲を高める。				◎				○	
18MEDU1561	幼児発達特論	1	幼児の発達に関する専門的理解を深め、豊かな心とからだを育てるための保育の諸課題を考える。特に身体表現活動に焦点をあてながら、幼児の発達、保育の実践と理論について学ぶ。	科目修得時には、〈知識・理解〉保育に関する知識理解、〈技能〉論理的思考力、〈態度・志向性〉保育者としての指導力・研究推進力が身につくことを目標とする。	○	◎							
18MEDU1563	幼児発達演習Ⅰ	1	幼児の発達に関する専門的理解を深め、豊かな心とからだを育てるための保育の諸課題を考える。特に身体運動の側面から、幼児の発達、保育の実践と理論について学ぶ。	科目修得時には、〈知識・理解〉保育に関する知識理解、〈技能〉論理的思考力、〈態度・志向性〉保育者としての指導力・研究推進力が身につくことを目標とする。		◎						○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
18MEDU1564	幼児発達演習Ⅱ	1	幼児の発達に関する専門的理解を深め、豊かな心とからだを育てるための保育の諸課題を考える。特に身体表現の側面から、幼児の発達、保育の実践と理論について学ぶ。	科目修得時には、〈知識・理解〉保育に関する知識理解、〈技能〉論理的思考力、〈態度・志向性〉保育者としての指導力・研究推進力が身につくことを目標とする。						○		◎		